

知っていますか？！ 薬剤耐性

薬剤耐性(AMR)とは

感染症の原因となる細菌に
抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです

「かぜ」の原因は「ウイルス」です
抗菌薬は「かぜ」の時にのんでも効果はありません
自己判断でのんだり医師の処方を守らないと
治らないばかりか副作用が出たり

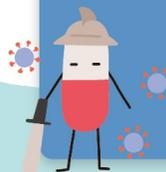
「薬剤耐性菌」が生じて
感染症の治療や予防の
妨げになります



薬剤耐性菌を増やさないために

不必要な時に抗菌薬をのまない

抗菌薬はかぜを治す万能薬ではありません。
かぜやインフルエンザの原因となるウイルスに、
抗菌薬はそもそも効果がありません。
必要のない抗菌薬を求めないようにしましょう。
わからないことは、お医者さんや薬剤師さんに聞きましょう。



抗菌薬を処方されたらきちんとのみましょう

お医者さんはあなたの体に合わせた抗菌薬を処方しています。
処方された抗菌薬は、お医者さんの指示どおりにのみましょう。
とっておいて、別の機会にのんではいけません。
また、他の人の抗菌薬をもらったり、あげたりしてはいけません。



感染症を防ぎましょう ◆日頃からの体調管理と予防が大切です

正しい手洗い

- ◆ 石けんと水でよく洗いましょう
アルコール性の手指消毒剤も有効です



咳エチケット

- ◆ 咳やくしゃみのしぶきがとばないようにマスクをきちんとつけましょう
マスクがない時はハンカチや袖の内側で口や鼻を覆いましょう

ワクチン接種

- ◆ 感染症には、ワクチンで予防できるものがあります

未来に使える抗菌薬を残すことが、
今の私たちに課せられています

AMR対策
推進のまち
ひめじ

姫路市では、令和3年10月のWHO西太平洋地域委員会開催に伴い、医師会や歯科医師会など医療関係者等と連携の下、関連イベントとして、国際オンラインシンポジウム「AMRという健康危機」を開催しました。WHO西太平洋地域委員会のホストシティとして本シンポジウムを開催したことを契機に、AMR対策を推進する、「AMR対策推進のまち」を宣言しました。

姫路市「AMR対策推進のまち宣言」

細菌に対して薬が効かなくなる薬剤耐性、すなわちAMRの問題については、このまま対策が取られなければ、将来多くの人命が失われると予測されており、世界規模でAMR対策の取組が進められています。

AMRは人類共通の脅威として国際的な問題となっていますが、姫路市としても危機感を共有し、私たち一人ひとりがAMRの危険性とその対策の重要性を認識し、知識や理解を深めます。

また、地球上の人や動物、環境を一体としてとらえ保健衛生に取り組むワンヘルス・アプローチの視野に立ち、医療や畜水産等の分野における抗微生物剤の適正使用を推進します。

姫路市は、AMRが原因で亡くなる市民が一人でも少なくなることを目指し、ここに「AMR対策推進のまち」とすることを宣言します。



姫路市公式ページ
「AMR対策推進のまち宣言について」

令和4年(2022年)2月
姫路市長 清元 秀泰

また、姫路市としても、AMR対策に関する様々な知見の習得やネットワークづくりを進めるため、AMRアライアンス・ジャパンへの活動にも自治体として初めて参画をしています。今後は、まち宣言を踏まえ、関係団体と連携し、抗菌薬の適正利用など、AMRに関する普及啓発を行っていきます。



AMRの情報はこちら



AMRアライアンス・ジャパン



AMR臨床リファレンスセンター

親と医師で考えた
病院に行く前に
知っておきたいこと



子どもと医療
WEBサイト



子どもと医療のサイトは、「子どもと医療」プロジェクトによって運営されています。

サイトの内容は、親が子どもの医療のかかり方を知ることで親の不安を解消し医療者の負担を軽くするという保護者による活動で、小児科医による講座やメールマガジンの情報をまとめられたものです。

小児科医による監修の下、親、そして子どもに関わる大人に必要な知識をわかりやすい言葉で、成長段階ごとに発信されています。

子育てを行う皆さんに、このサイトをご覧いただき、子どもの医療や医療機関への適切なかかり方について知っていただくきっかけになれば幸いです。